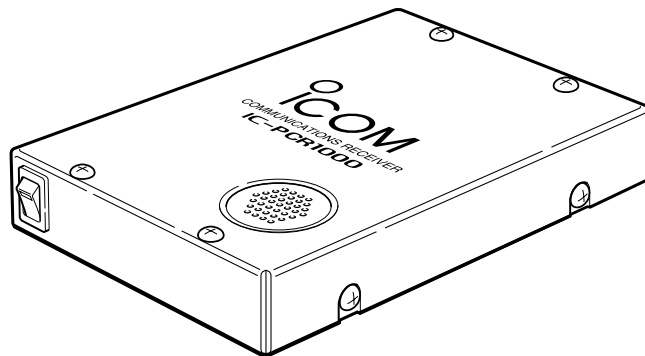




取扱説明書

COMMUNICATIONS RECEIVER
IC-PCR1000



Icom Inc.

はじめに

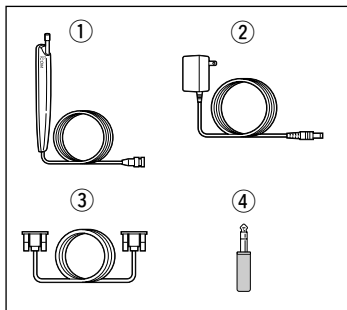
このたびはIC-PCR1000をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、パソコン操作型のコミュニケーション・レシーバーです。

パソコンの拡張シリアルポートRS-232Cをインターフェイスとして使用し、Windows 98/98SE/Me/2000/XPの環境に対応しています。

ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分発揮していただくと共に、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

付属品



- ① アンテナ 1
 - ② AC アダプター 1
 - ③ RS-232Cケーブル 1
 - ④ スピーカープラグ 1
- CD (Install disk)
 - 取扱説明書
 - 愛用者カード
 - 保証書

目次

1. 安全上のご注意	1
2. 接続について	4
① 接続図	4
② TNCの接続	5
3. セットアップのしかた	6
① インストールについて	6
② アンインストールについて	7
③ IC-PCR1000の起動	8
④ 操作方法	9
⑤ 外部スピーカー出力の切り替えについて	9
⑥ 別売品について	10
4. 定格	11

■ユーザー登録について

本機の愛用者カードに必要事項をご記入いただき、必ず投函してください。

ユーザー登録は、バージョンアップ・サービスなどをご提供する際に必要となります。

■シリアルインターフェイス(RS-232C)ケーブルについて

本機に付属しているケーブルは、D-Sub 9ピン/メス型です。お手持ちのパソコンのシリアル・ポートが上記以外の型の場合は、別途に変換コネクタをお買い求めください。

■動作環境について

IC-PCR1000のソフトウェアをご使用になるには、下記PC/AT互換機に対応しています。

- Windows XP Professional
- Windows XP Home Edition
- Windows 2000 Professional
- Windows Millennium Edition
- Windows 98
- Windows 98 Second Edition

※本書では、各対応OSに対する記載について下記のように総称し、表記しています。

Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98/98 SE

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom.Inc.、icom は、アイコム株式会社の登録商標です。

IC-PCR1000のソフトウェアおよびドキュメントは、アイコム株式会社が著作権を保有します。

アイコム株式会社の著作物の全部または一部を無断記載、複写およびいかなる方法による複製を禁止します。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本文中の画面の使用に際して、米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

安全にお使いいただくために、必ずお読みください。

- ここに示した記載事項は、使用者および周囲の人への危害や財産を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

■受信機本体について



警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなど異常状態のまま使用しないでください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
すぐに電源を切り、DC INコネクタに接続している電源コードを抜いてください。
煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社営業所サービス係に連絡してください。
- 指定以外のACアダプターは使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ガス管や配電盤に接地しないでください。
感電や漏電、火災の原因になります。
- この製品は完全調整していますので、分解、改造しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- 製品の中に線材のような金属物や水を入れしないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- 雷が鳴り出したら、安全のため電源スイッチを切り、本機に接続している電源コード、アンテナを抜いてください。
アンテナには絶対にさわらないでください。
落雷によって、火災、感電、故障の原因になります。

⚠ 危険

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

- 直射日光のあたる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など温度変化の激しい場所に放置しないでください。変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- テレビやラジオのすぐ近くで使用しないでください。電波障害を受けたり、雑音が発生することがあります。
- 製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。けが、故障の原因になることがあります。
- 製品の上に乗ったり、物を置いて保管しないでください。落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になることがあります。
- ぐらついた台や傾いたところ、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になることがあります。

■ ACアダプターについて

⚠ 警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱や加工しないでください。傷ついて破損し、火災、感電、故障の原因になります。
- 電源コードの上に重い物を載せたり、挟んだりしないでください。傷ついて破損し、火災、感電、故障の原因になります。
- 電源コードや接続ケーブルを抜き差しするときは、必ずプラグの部分を持って行ってください。火災、感電、故障の原因になります。
- 電源コードや接続ケーブルが傷ついたり、ACコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。火災、感電、故障の原因になりますので、お買い上げの販売店、または弊社営業所サービス係に連絡してください。
- ぬれた手で電源プラグや機器に絶対触れないでください。感電の原因になります。

1 安全上のご注意

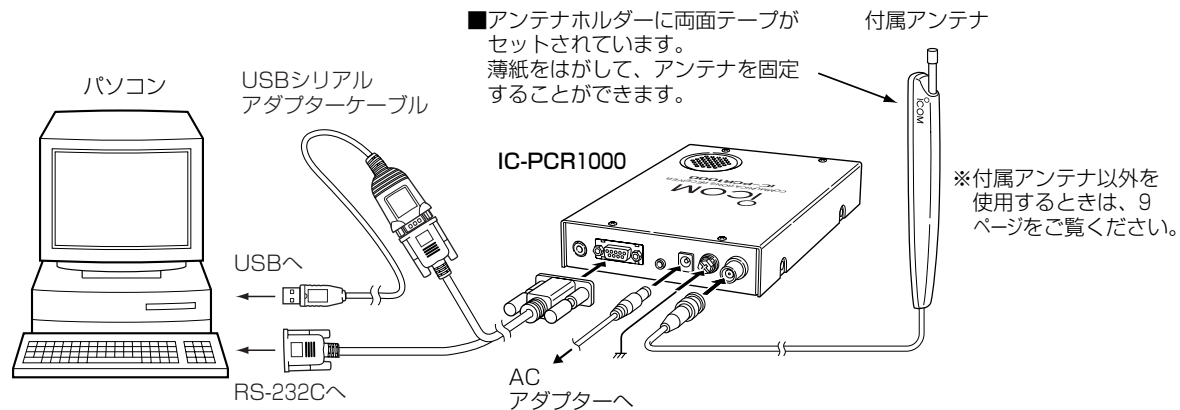
■その他取り扱い上のご注意

- 電波法第59条で「特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。」と通信の秘密に関して定められています。
- IC-PCR1000は広帯域受信機ですから、受信機の内部発信(スプリアス)により、受信できなかつたり、雑音を発生する周波数もありますのが、故障ではありません。
- アンテナは、コンピューターやテレビの近くに設置すると、ノイズなどの影響を受けますので、できるだけ離して設置してください。
- パーソナルやアマチュア無線を使って、本機の至近距離で送信すると、本機が誤動作する場合があります。
アンテナを1m以上離し、必要時は本機のアッテネーターを動作させながら受信してください。
- 使用する地域によって、外部アンテナを使用したり、近くに強い電波があるときなど、妨害を受けることがあります。アンテナは受信周波数に合った専用のものが市販されていますが地域差や電波の状況により受信できない場合があります。
- FM/TV送信局が近くにある場合(特に東京/大阪など)、強い電波により妨害を受けやすくなりますので、このような地域においては、本機のアッテネーターを動作させながら受信してください。
- 清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対使用しないでください。ケースが変色したり、塗料がはげる原因になることがあります。普段は柔らかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

■CR-ROMの清掃と保管について

- 表面に付着した指紋やホコリによるCD-ROMの汚れは、起動時のデータ読み取り不良の原因になりますので、いつもきれいに清掃してお使いください。
- 普段は、やわらかい布を使って、CD-ROMの中心から外の方向へ軽くふいてください。
- 汚れのひどいときは、水をやわらかい布に少し含ませてふいてください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などは、CD-ROMの表面を傷める原因になりますので、使用しないでください。
- 直射日光のあたる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所には置かないでください。
また、長時間使用しないときは、ケースに入れて保管してください。
- CD-ROMのそりが原因で、起動時のデータ読み取り不良になることがあります。

1 接続図



※市販されている、USB SERIAL ADAPTER(USBシリアルアダプター)ケーブルを使用することによりUSBで運用できます。
 USBシリアルアダプターケーブルに付属している、USBドライバーをインストールしてください。

2 接続について

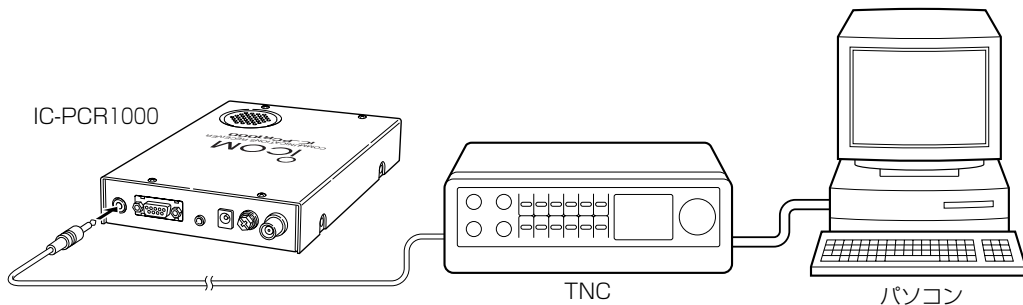
2 TNCの接続

パケット(AFSK)通信の受信に必要なTNC(Terminal Node Controller)は、下図のように接続してください。

TNCの接続は、後面パネルのPACKET(9600bps)端子に接続します。

(通信速度：9600bpsに対応します。)

なお、接続する際は使用するTNCに添付の取扱説明書をよくお読みください。



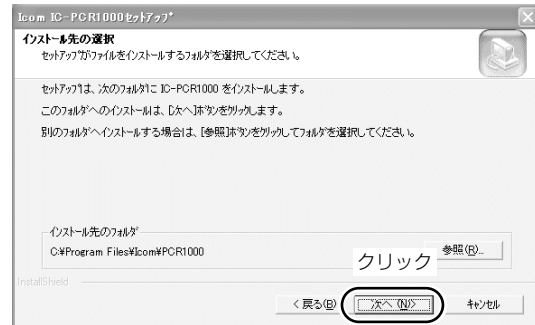
※その他の機器の接続は、4ページをご覧ください。

① インストールについて

- ① パソコンの電源を入れます。
※ Windows XP/2000は、**管理者権限でログオン**します。
- ② 現在、起動しているアプリケーションをすべて終了します。
- ③ 本製品の付属CD(Install disk)をパソコンのCDドライブ [D:](以後CDドライブをDとする)に挿入します。
- ④ 「スタート」ボタンをクリックし、スタートメニューの「ファイル名を指定して実行」コマンドをクリックします。
- ⑤ コマンドラインボックスに「<ドライブ名> D: : ¥SETUP.exe」と入力し、[Enter]を押します。
- ⑥ [OK]ボタンをクリックします。
※表示画面の流れは、Windows XPの場合です。

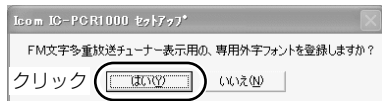


- ⑦ [次へ (N)]をクリックします。
インストールを開始します。

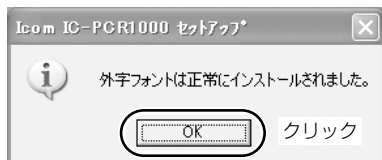


3 セットアップのしかた

- ⑧ インストールを完了すると、FM文字放送チューナー表示用の、専用外字フォントの登録画面が表示されます。
[はい (Y)]をクリックします。



- ⑨ [OK]をクリックします。



- ⑩ [完了]をクリックします。
CDをCDドライブから取り出します。



② アンインストールについて

Windows XPの場合

- ① 「スタート」ボタンをクリックし、設定からコントロールパネルをクリックします。
- ② マウスを〈スタート〉→[コントロールパネル(C)]の順に操作します。
- ③ コントロールパネルから、[プログラムの追加と削除]をクリックします。
- ④ 「Icom IC-PCR1000」→〈変更と削除〉の順にクリックします。
- ⑤ 〈アンインストール(U)〉をクリックして、表示する画面にしたがいます。

Windows 98/98 SE/Me/2000の場合

- ① マウスを〈スタート〉→[設定(S)]→[コントロールパネル(C)]→[アプリケーションの追加と削除]の順に操作します。
- ② 「Icom IC-PCR1000」→〈追加と削除(R)...〉の順にクリックします。
- ③ 表示する画面にしたがいます。

■ 外字ファイルについて

インストール時に専用外字ファイル正しく登録できなかったときは、上記を参照してソフトウェアのアンインストールを行ってください。

その後、再インストールを行ってください。

③ IC-PCR1000の起動

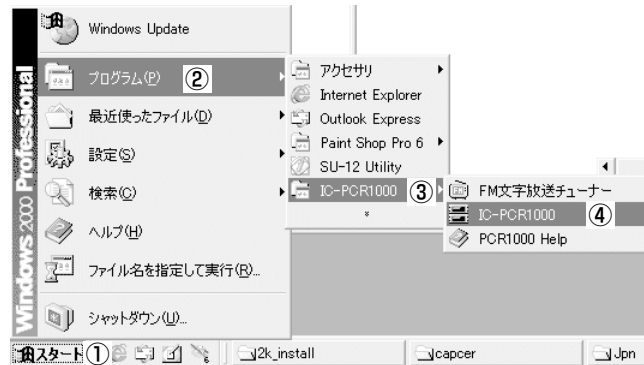
Windows XPの場合

- ① プログラムを起動する前に、必ずIC-PCR1000本体の「POWER」スイッチを“ON”(LED点灯)にします。
- ② 画面上で[スタート]ボタンをクリックし、すべてのプログラム(P)→IC-PCR1000→IC-PCR1000の順に操作します。



Windows 98/98SE/Me/2000の場合

- ① プログラムを起動する前に、必ずIC-PCR1000本体の「POWER」スイッチを“ON”(LED点灯)にします。
- ② 画面上で[スタート]ボタンをクリックし、プログラム(P)→IC-PCR1000→IC-PCR1000の順に操作します。



3 セットアップのしかた

4 操作方法

- ① メニューバーのHelp(ヘルプ)をクリックし、Contents(目次)をポイントします。
- ② 目次の中から、操作を行うメニューをクリックすると、操作方法が表示されます。

■アンテナについて

本機に付属しているアンテナは、簡易アンテナですから、低い周波数帯で十分な感度を得ることができない場合があります。

アンテナは、アンテナメーカーから数多く発売されていますから、用途や設置スペースに合わせて選択してください。

第一電波工業(株)のD-707などの市販のアンテナを使用すると、受信性能がさらによくある場合がありますので、販売店にご相談ください。ただし、M(メス)型→BNC(オス)型への変換コネクタが必要となります。

【例】アイコム(AICOM)のAH-7000を使用する場合

AH-7000の接続ケーブルには、N型コネクタが取り付けられています。

本機のアンテナ端子はBNC型のため、N(メス)型→BNC(オス)型への変換コネクタが必要となります。

- 周波数範囲：25～1300MHz

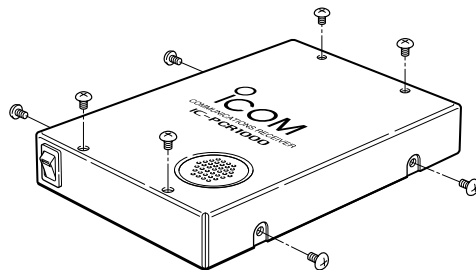
※変換コネクタは、アンテナをお買い求めの販売店にご相談ください。

5 外部スピーカー出力の切り替えについて

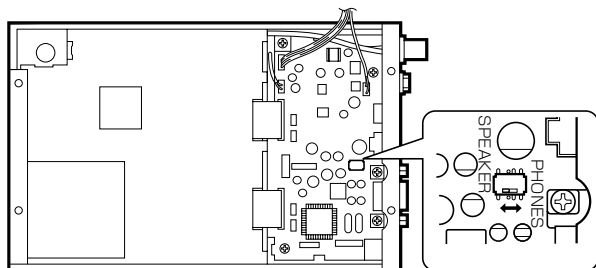
■ パソコンのスピーカーを使用するときは、下記を参照して、本機の内部スイッチをに切り替えてください。
なお、ヘッドホンを使用するときも同様に切り替えてください。

- ① POWERスイッチは、必ず“OFF”にしてください。
電源コードや他の接続コードを外してから行ってください。
 - ② カバーを取り付けている8本のネジを外します。(図1参照)
 - ③ ユニットのスピーカー切り替えスイッチを、PHONES側に切り替えます。(図2参照)
- ※ 接続方法は、本機のEXT-SP端子とコンピューターのLINE-IN端子を接続します。(図3参照)
ステレオケーブルおよびステレオヘッドホンを使用できますが、本機からの音声出力はモノラルです。

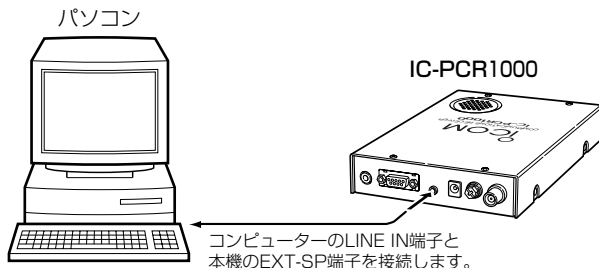
●カバーの外しかた(図1)



●スイッチの切り替え(図2)



●接続のしかた(図3)



※その他の機器の接続は、P4、5をご覧ください。

6 別売品について

- AH-7000
超広帯域ディスコーンアンテナ
- UT-106
受信DSPユニット
- UT-107
FM文字多重ユニット

4 定 格

- 受信周波数： 0.01000~252.90000MHz 255.10000~261.90000MHz 266.10000~270.90000MHz
275.10000~379.90000MHz 382.10000~411.90000MHz 415.10000~809.90000MHz
834.10000~859.90000MHz 889.10000~914.90000MHz 960.10000~1300.00000MHz
ただし、動作保証範囲は0.5~1300MHzの範囲とする。

- 受信方式：スーパーヘテロダイン方式
- 電波形式：WFM/FM/AM/SSB/CW
- 周波数安定度：1300MHzにて±3ppm(0°C~+50°C)
- 周波数分解能：最小：1Hz
- アンテナインピーダンス：50Ω 不平衡、
- 中間周波数：1st：266.7MHz、2nd：10.7MHz、3rd：450kHz(WFMモードを除く)

- 受信感度：

※BW = SSB/CW : 2.8kHz
AM : 6kHz
FM : 15kHz
WFM : 230kHz

周波数範囲 (MHz)	SSB/CW (10dB S/N)	AM (10dB S/N)	FM (12dB SINAD)	WFM (12dB SINAD)
0.5~1.799999	-5dBμ	8dBμ	保証外	保証外
1.8~29.999999	-11dBμ	3dBμ	-6dBμ*1	保証外
30~49.999999	-9dBμ	5dBμ	-6dBμ	保証外
50~699.999999	-14dBμ	0dBμ	-10dBμ	-2dBμ
700~1300	-12dBμ	2dBμ	-8dBμ	0dBμ

*1 28~29.999999MHz の範囲内

- スケルチ感度：

[Threshold]
※BW = SSB/CW : 2.8kHz
AM : 6kHz
FM : 15kHz
WFM : 230kHz

周波数範囲(MHz)	SSB/CW	AM	FM	WFM
0.5~1.799999	23dBμ	5dBμ	—	—
1.8~29.999999	17dBμ	-1dBμ	-4dBμ*2	—
30~49.999999	17dBμ	-1dBμ	-4dBμ	—
50~699.999999	15dBμ	-3dBμ	-6dBμ	15dBμ
700~1300	17dBμ	-1dBμ	-4dBμ	17dBμ

*2 28~29.999999MHz の範囲内

• スケルチ感度 :
[Tight]

周波数範囲(MHz)	SSB/CW	AM	FM	WFM
0.5~1.799999	110dB μ	110dB μ	—	—
1.8~49.999999	110dB μ	110dB μ	110dB μ *3	—
50~1300	110dB μ	110dB μ	110dB μ	110dB μ

*3 28~49.999999MHz の範囲内

• 選 択 度 : WFM 230kHz/−6dB(TYP.)
WFM/FM/AM 50kHz/−6dB(TYP.)
FM/AM 15kHz/−6dB(TYP.)
FM/AM/SSB/CW 6kHz/−6dB(TYP.)
AM/SSB/CW 2.8kHz/−6dB(TYP.)*4

*4 ただし、コンピューターの画面上では、3kHzの表示になっています。

• 電 源 電 圧 : DC13.8V \pm 15%、またはAC100V \pm 10%(ACアダプター使用)

• 接 地 方 式 : マイナス接地

• 消 費 電 流 : 本体が“ON”でPC上“OFF” 0.1A
受信スケルチクローズ 0.6A
AF出力最大時 0.7A

• 低 周 波 出 力 : 0.2W以上(8 Ω /10%歪率時)

• 低周波負荷インピーダンス : 4~8 Ω

• 外 形 寸 法 : 127.5(W) \times 30(H) \times 199(D) (突起物を除く)

• 重 量 : 約1.0kg

• 使 用 温 度 範 囲 : \pm 0~+50 $^{\circ}$ C

• IF シ フ ト 可 変 範 囲 : \pm 1.2kHz以上

※定格・仕様・外観等は改良のため予告なく変更する場合があります。

高品質がテーマです。

A-5453H-1J-④
Printed in Japan
© 2002 Icom Inc.

アイコム株式会社

本 社	547-0003	大阪市平野区加美南1-1-32	
北海道営業所	003-0806	札幌市白石区菊水6条2-2-7	TEL 011-820-3888
仙台営業所	983-0857	仙台市宮城野区東十番丁54-1	TEL 022-298-6211
東京営業所	130-0021	東京都墨田区緑1-22-14	TEL 03-5600-0331
名古屋営業所	468-0066	名古屋市天白区元八事3-249	TEL 052-832-2525
大阪営業所	547-0004	大阪市平野区加美鞍作1-6-19	TEL 06-6793-0331
広島営業所	733-0842	広島市西区井口3-1-1	TEL 082-501-4321
四国営業所	760-0071	高松市藤塚町3-19-43	TEL 087-835-3723
九州営業所	815-0032	福岡市南区塩原4-5-48	TEL 092-541-0211

● サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。